

防災・災害対応

- ・あらゆる災害からの“まもり”
- ・市民や職員の防災意識を“そだてる”
- ・平時からの地域、関係団体と“つながり”、関係を“そだてる”
- ・エリア防災の各施設を“つなげ”、まち全体の防災力を“そだてる”

あらゆる災害に備え、市民・地域・職員が つながり・そだつことができる庁舎

整備方針

- ・あらゆる災害に対応する庁舎を目指します。
- ・災害対応業務が適切に実施できる業務継続性能を十分に確保した庁舎を目指します。
- ・受援等を想定した災害時の可変性を十分に確保した庁舎を目指します。
- ・エリア防災に寄与する庁舎を目指します。

※ソフト面での対応についても今後検討を進めます

行政サービス

- ・個人情報や利用者のプライバシーを“まもる”
- ・年齢や障がいの有無等に関わらず使いやすいインクルーシブデザイン
- ・多様な行政ニーズに対応できる職員を“そだてる”
- ・将来の社会情勢の変化にも柔軟に対応し、“そだっていく”可変性がある
- ・市民と“つながり”、市民意見を施策へ反映していく姿勢をもつ
- ・関連部署が“つながり”、ワンストップ窓口を実現する

だれもが安心して快適に利用でき、 質の高い行政サービスが受けられる庁舎

整備方針

- (窓口)
- ・書かない、待たない、みんなに優しい、プライバシーに配慮した窓口を目指します。
 - ・迷わない、わかりやすい窓口を目指します。
 - ・将来のニーズに対応できる可変性のある窓口を目指します。
 - ・利用者特性に配慮した、快適に過ごすことができる待合スペースを目指します。

※執務環境等に関する整備方針については、次回お示しする予定です

交流・共創スペース

- ・災害時には、みんなを“まもる”
- ・市民と職員が共にまちを“そだてる”
- ・いつでもだれでも気軽に集い、“つながる”
- ・歴史や文化、自然を“まもり”、次の世代へ“つなぐ”
- ・まちづくりの核として、更なる賑わいを創出

多様な出会いや交流が生まれ、 市民と職員が未来の熊本市を共に創ることができる庁舎

整備方針

- ・新庁舎の各所に交流・共創スペースを設置します。
- ・本庁舎は、「憩いと賑わいにつつまれ、新しい“何か”が生まれる空間」を目指します。
- ・中央区役所は、「人、場所、想いをつなぎ、まちに動きを生み出す空間」を目指します。
- ・本庁舎低層階には、文化的処方の拠点を設置します。
- ・災害時は、一時的な避難場所や臨時窓口設置等に活用することを想定します。
- ・夜間や閉庁日の開放や民間活力の導入、事業スキームについて検討します。

景観・デザイン

- ・先人が築き上げてきた歴史と景観を“まもる”
- ・熊本への愛着を“そだてる”
- ・熊本城とまちを“つなぐ”歴史と緑のランドスケープ
- ・緑と歴史が息づく景観を、みんなで“そだて”未来へ“つなぐ”

景観と歴史をまもり、つなぎ、愛着を生みだす庁舎

持続可能性

- ・恵まれた環境、限りある資源を“まもる”
- ・市民の環境意識を“そだてる”
- ・豊かな自然とかけがえのない地球環境を未来へ“つなぎ”、
都市ブランドを市民とともに“そだてる”
- ・長く使える安心を、未来へ“つなぐ”

環境をまもり、未来へつなぐ庁舎

※「景観・デザイン」「持続可能性」に関する整備方針については、次回お示しする予定です